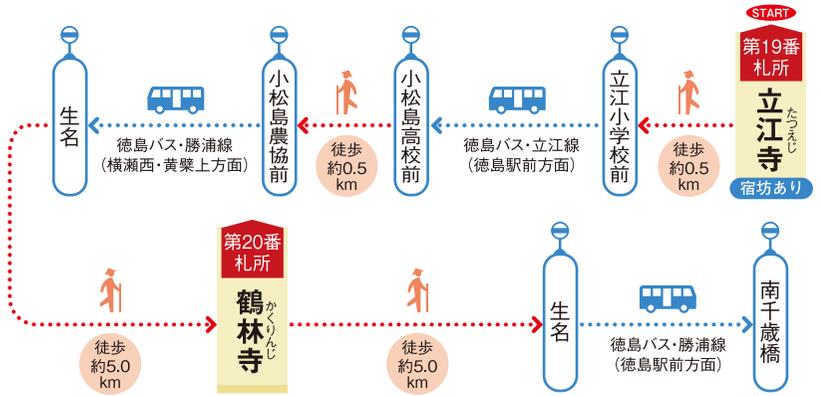


【阿波】



徳島

高知

愛媛

香川

コースのみどころ

黒髪堂

お京という女が愛人と結託し夫を殺害。寺まで逃げてくると黒髪が風にあおられ鉾の緒に巻き付き、懺悔をすと肉ごと剥がれ、命は助かった。立江寺は罪人に天罰が下る閻所寺といわれている。



コースのみどころ

鶴林寺山門

老杉の巨木の中に建つ仁王門。仁王像は運慶作と伝えられている。山々の幽玄な雰囲気や釈迦が説法を行ったインドの聖地、霊鷲山に似ていることから霊鷲山という山号が付けられた。



コースのみどころ

鶴林寺の鶴

本尊の地蔵菩薩立像を2羽の白鶴が守っていたという鶴林寺には山門に木造、本堂前には青銅製の阿吽の鶴が向かい合って立っている。道中着の背中に鶴のご朱印をいただくお遍路さんも多い。



各札所へ直接アクセスする方法 【起点:JR徳島駅】

- ① 立江寺: 徳島バス立江線 立江小学校前 → 徒歩約0.5km
- ② 鶴林寺: 徳島バス勝浦線 生名 → 徒歩約5.0km

各札所間(1番から88番まで順打ち)のアクセス方法

- ① 立江寺 → ② 鶴林寺: 徒歩約16.0km
- ② 鶴林寺 → ③ 太龍寺: 徒歩約6.5km

ひと足のおぼして

「生名(いくな)バス停から鶴林寺と反対側、勝浦川を渡って坂道を40分ほど登ると、立江寺の奥の院「星谷寺(しょうこくじ)」別名「星の岩屋」がある。村に災いをもたらしていた悪星を大師が法力で地上に落とし、この岩屋に封じ込めたという伝説が残る。樹齢約450年の楠の巨木に彫られた「生不動の楠」や大師も修行を行った岩場から見る「不動の滝(裏見の滝)」など見所は多い。本尊を十一面観世音菩薩とするこの寺は阿波秩父観音霊場第7番札所でもあるが、現在僧侶は無住で納経は鶴林寺が行っている。



ちよっと思

お遍路豆知識

巡拝の証として本堂と大師堂の納札箱に納める「納札(おさめふだ)」、昔は木札を柱に打ちつけていたことから札所にお参りすることを「札所を打つ」、「打ち始めの寺」「打ち止め」というようになりました。